

【国内初商用EVメーカー HW ELECTRO】 日本発のHWEオリジナル新車種 軽商用EV「PUZZLE」のコンセプトカーを発表

HW ELECTRO株式会社（所在地：東京都江東区 代表取締役社長：蕭 偉城、以下「HW ELECTRO」）は、3つのコアバリュー「サステナビリティ」「コネクティビティ」「社会貢献」を、軽自動車規格商用EVのあるべき姿として具現化した、Made in JapanのHWEオリジナル新車種「PUZZLE」（パズル）のコンセプトカーを、Japan Mobility Show2023でワールドプレミアとして発表しました。この新車種「PUZZLE」は2025年初春の発売を目指しています。HW ELECTRO独自のアプリ「MyHWE」やHW ELECTRO が展開するプラットフォームサービスとも連携することで、「PUZZLE」を通じ、自然災害や環境問題などの社会のあらゆる課題を解決する重要な1ピースとなることを目指して参ります。（PUZZLE公式サイト：<https://hwe-cars.jp/puzzle>）



HW ELECTROは、「環境問題」と「社会貢献」の視点から「人に、社会に、不可欠なピースであるために」をコンセプトに、次世代の多用途商用EV「ELEMOシリーズ」の車両の開発・製造と販売を行うファブレスメーカーです。2021年4月に国内で初めて輸入小型EV商用車としてナンバーを取得し、2021年7月24日より「ELEMO」（エレモ）、11月20日より「ELEMO-K」（エレモ-ケイ）の販売を開始いたしました。そして2023年秋に、中型バン「ELEMO-L」（エレモ-エル）が販売開始されます。

「PUZZLE」開発背景

HW ELECTROは、EV普及率の低い日本において、街の隅々を走りワンマイル配送事業に携わる軽商用車をEV化することで、環境負荷の低減及び自然災害に強い街づくりに貢献できると考え、2020年より商用EV「ELEMOシリーズ」の販売を開始しました。ELEMOシリーズは、企画から製品化まで短時間でこなせる小回りの効くファブレスメーカーとして、お客様のニーズに応える仕様を素早く具現化した製品です。また、ラストワンマイル配送のEV化に加え、物流業界のさらなる効率化や事業改革に寄与するために、独自コネクテッド技術の開発も積極的に進めています。

この度、これまでのELEMOシリーズでの経験から得たお客様や社会の要望を汲み取りながら、掲げているコアバリュー「サステナビリティ」「コネクティビティ」「社会貢献」を一つの車両に集約し、社会の「1ピース」となることを目指し、日本発のHWEオリジナル新車種「PUZZLE」を開発しました。

ELEMOシリーズと同様、HW ELECTROが考える高い社会貢献の意識とともに、よりユーザーに寄り添った日本発想の製品づくりにこだわり、クルマをお使いいただく喜びや感動を提供できる新車種となっております。

「PUZZLE」今後の展望

新しい軽自動車サイズの商用EV「PUZZLE」は、コンセプトカーを元にした量産モデルの計画が進んでおり、2024年末～2025年春での販売を目指しています。また、価格は走行距離1キロ1万円、1台あたり200万円（税別）を予定しています。

「PUZZLE」は、HW ELECTROという企業そのものが社会におけるひとつのピースになりたいという想いを結集させた新車種です。これまでのクルマとは一線を画す、災害時に役立つ移動電源としての機能やエマージェンシーキットの常備、Wi-Fi機能搭載に加え、独自のコネクテッドカーアプリケーション「MyHWE」やHW ELECTROのプラットフォームサービスと連携し、随時機能を増やしアップデートしていくことで、これからの時代に必要とされる車両・社会を目指し、「PUZZLE」が世の中を走ることで、EVや商用車が社会貢献に欠かせない存在であることを証明いたします。

同時に、HW ELECTROが考える「商用EVが災害時の救済ツールになることの価値」を、広く多くの方々にご理解いただけるように努めて参ります。

「PUZZLE」特長

①デザインからも見てとれる徹底した合理化

フロントバンパーと屋根の前端部分、左前と左後のドア等は、複数箇所が同じパネルで構成されています。この他にも互換性のある共通パーツを各所に使用することで、製造時の無駄を省き生産性を高めました。



②街に安心をもたらすEV

AC電源などの電力供給機能により、通常時はもちろん、電力インフラが断線するような非常時にも、電力を供給することが可能です。また、ファーストエイドキットやバールなど、緊急時に役立つ装備も常備しています。



③運ぶクルマとしての無駄のない空間設計

運ぶクルマとしての利便性を第一に考え、荷室空間の無駄を極限まで排したカタチにしました。既存のサイズを余すことなく使うために、直方体の荷室となりました。



④好みに合わせてアレンジ自在

内装パネルをピンボードにすることで、まるで自分の部屋をアレンジするかのように、さまざまなインテリアパーツをフレキシブルに配置することができます。



⑤ワンマイル配送にもゼロ・エミッション車を

純粋なバッテリーEVであるため、走行中の温室効果ガスの排出はゼロです。一般的なガソリンエンジンと比べ、静かな上に発進時の力強さが圧倒的で、外見に見合わないパワフルで滑らかな加速性能と、あらゆる速度域で乗用車のような静粛性を実現します。

⑥ビジネスにもプライベートにも

頼もしい走行性能と効率的な空間設計、自由度の高いインテリアによって、ワンマイル配送を始めとするビジネスユースから、キャンプなどの趣味の道具を運ぶプライベートユースまで、誰にでも心地の良い移動体験をもたらします。



⑦移動する社会インフラとしてのポテンシャル

クルマの外にいる人が使用することを前提としたUSBポートと電源コンセントを備えるほか、Wi-Fiスポットとしても機能します。いざというときに社会のインフラになること、これもまたHW ELECTROが考える小型商用EVの使命です。



「PUZZLE」スペック表

| | |
|----------------------|-----------------------------|
| 外部サイズ (長さ×幅×高さmm) | 3,395×1,475×1,920 |
| ホイールベース (mm) | 2,480 |
| 最大積載量 (kg) | 350 |
| 乗車定員 (名) | 2 |
| 価格 | 走行距離1キロ1万円、1台あたり200万円（税別）予定 |
| 販売開始時期 | 2024年末～2025年春 予定 |

「PUZZLE」デザイナーのご紹介

Fortmarei Inc.

| | | | |
|------|-----------------|------|-----------------|
| 2018 | 株式会社Fortmarei設立 | 2020 | GLMモビリティスクーター発表 |
| 2019 | 旭化成AKXY POD発表 | 2021 | 旭化成AKXY2発表 |
| 2020 | 京セラMoeye発表 | | アポロG2J発表 |

Fortmarei

石丸 竜平 氏

CEO / クリエイティブディレクター

1988年、福岡県久留米市生まれ。九州大学芸術工学部、ミラノ工科大学、ヨーロッパ・デザイン学院トリノ校で工業デザインを学び、卒業後はフィアット、マセラティのインターンシップでカーデザイナーのキャリアをスタート。2016年からはGLM チーフデザイナーを務める。2017年には旭化成の初代AKXY、翌年京セラのコンセプトカーのデザインを手がけた。2018年に独立し、自動車デザインスタジオFortmarei Inc.を京都に設立。



■石丸氏からのコメント

今でも鮮明に覚えているのは、このPUZZLEのお話を最初に頂いた時のことです。電話口で内容を聞いている最中には既に手が動き出し最初のスケッチを描きはじめていました。それはHWEの描く未来のビジョンとこのプロジェクトが、私が想像する未来の社会の風景とすぐに強くリンクしたからだと、今振り返りながら思っています。電話の直後から一心不乱に案を煮詰め、その5日後には最終デザインの原型は完成していました。そこからさらに一年以上かけてHWEと共に細部までこだわり抜いたデザインは、これから先の私たちの生活に不可欠なピースになると確信しています。

Ivo ter Hennepe 氏

シニアデザイナー

1992年、オランダ、デ・ロンデ・ヴェネン生まれ。ヨーロッパ・デザイン学院トリノ校で自動車デザインを学ぶ。石丸とは大学の同級生。卒業後の2016年からはアルファロメオ、フィアット、マセラティでのインターンシップを経験、その後ドイツに渡り、2018年にプフォルツハイム大学を卒業。同年からアウディデザインスタジオに1年在籍した後、イタリアに戻りイタリアデザインで研鑽した。2021年にFortmareiに入社しシニアデザイナーを務める。

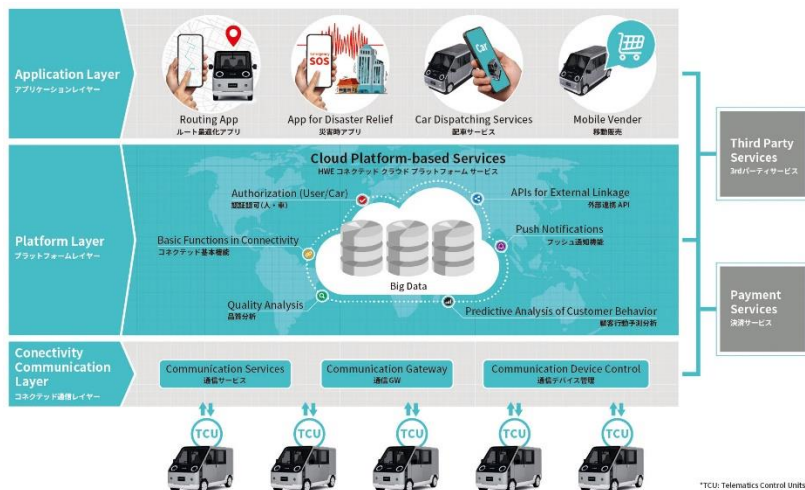


■Ivo氏からのコメント

最初の5日間で私たちが築いた「パズルデザイン哲学」は、商用車としての機能性と公共サービス、社会インフラを第一に考え、それを美学に反映させるというものでした。例えば、パズルに取り入れた公共パネルは車の明確な境界をぼかしながら多くの人々を受け入れ社会インフラの一部となるようなアイデアです。これほどまっさらな状態でプロジェクトをスタートし、大胆で予想外の選択を可能にするコンセプトを作り上げることができるのは稀なことで、とても光栄に思っています。

HW ELECTROの独自プラットフォームサービスについて

HW ELECTROのプラットフォームサービスは、車両とインターネットをつなぎ、災害支援や配送領域の最適化をはじめとした利便性の高いDX環境の提供を目指したサービス基盤となります。車両データはネットワークを通じプラットフォームに蓄積され、プラットフォーム上で解析されたデータは様々なアプリケーションやシステムと連携し、新たなサービスとして価値を生み出します。(動画URL：<https://hwelectro.co.jp/>)



コネクテッドカーアプリケーション「MyHWE」について

「MyHWE」は、独自のプラットフォームサービスによる情報基盤を持つモバイルアプリケーションです。本アプリケーションを通じ、モバイルからEVのバッテリー残量・充電のステータス・車両の現在地の確認が可能となります。また、モバイルから車両を遠隔操作する認証基盤を構築いたしました。

今後、インターネットを活用した災害支援や配送領域の最適化を始めとする様々なサービスとの連携を強化し、当社車両をお使いのお客様へ利便性の高いDX環境の提供を目指してまいります。



HW ELECTRO株式会社について

代表者 : 代表取締役社長 蕭 偉城
所在地 : 東京都江東区青海2-7-4 the SOHO Bldg.301
主な事業内容 : 多用途小型商用EV車「ELEMO」製造・販売
URL : <https://hwelectro.com>



HW ELECTRO